

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2005-350649(P2005-350649A)

【公開日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-050

【出願番号】特願2004-376632(P2004-376632)

【国際特許分類】

C 09 K	11/08	(2006.01)
C 09 K	11/59	(2006.01)
C 09 K	11/61	(2006.01)
C 09 K	11/64	(2006.01)
C 09 K	11/66	(2006.01)
C 09 K	11/67	(2006.01)
C 09 K	11/71	(2006.01)
C 09 K	11/73	(2006.01)
C 09 K	11/75	(2006.01)
C 09 K	11/76	(2006.01)

【F I】

C 09 K	11/08	D
C 09 K	11/08	J
C 09 K	11/59	C P R
C 09 K	11/61	C P T
C 09 K	11/64	C P M
C 09 K	11/64	C P W
C 09 K	11/64	C P X
C 09 K	11/66	C P P
C 09 K	11/67	C P S
C 09 K	11/71	C Q A
C 09 K	11/73	C Q B
C 09 K	11/75	C P Z
C 09 K	11/76	C Q H

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月24日(2006.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

紫外線光又は可視光励起用発光物質において、

S c、Y、L a、C e、P r、N d、P m、S m、E u、G d、T b、D y、H o、E r、T m、Y b及びL uからなる群より選ばれた少なくとも1種の希土類元素、又はM nからなる希土類元素とは異なる元素の何れか一方又はその双方の元素により活性化され、鉛及び/又は銅を含有する化合物を含むことを特徴とする発光物質。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明によれば、前記諸目的は、紫外線光又は可視光励起用発光物質において、S_c、Y、L_a、C_e、P_r、N_d、P_m、S_m、E_u、G_d、T_b、D_y、H_o、E_r、T_m、Y_b及びL_uからなる群より選ばれた少なくとも1種の希土類元素、又はM_nからなる希土類元素とは異なる元素の何れか一方又はその双方の元素により活性化され、鉛及び/又は銅を含有する化合物を含むことを特徴とする発光物質によって成し遂げられる。